

「市民《の》ホール」 2024/4 「RE:TETTO」 No.76

TETTO が開館して、はや 7 回目の春を迎えようとしています。これまで毎月のようにホールの特徴を生かしたコンサートや展示など、さまざまな事業を展開してきましたが、新型コロナウイルスの影響や人口減など、地域を取り巻く環境は年々厳しさを増しており、集客に苦戦する日々が続いております。もちろん、これからも良質なコンサート等をリーズナブルな価格で提供することは継続していきますが、新年度からは市民の皆様と共に TETTO の賑わいを創出できるような企画をこれまで以上に充実させていきたいと考えています。釜石市民《の》ホールという原点に戻り、ご意見やアイデアをしっかり吸収しながら、市民がより多く集える芸術文化活動の拠点として新年度も頑張ってまいりますので、皆様のご協力・ご提案・ご来館など、積極的な「かわり」を宜しくお願いいたします。



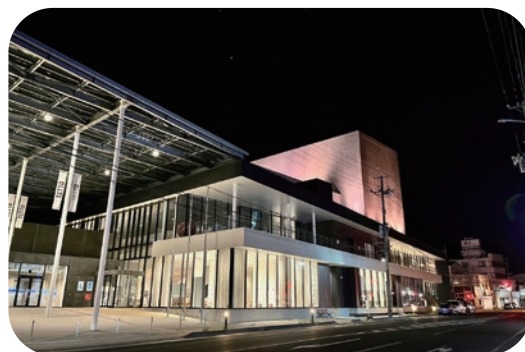
「スーパーキッズ・オーケストラ」 2024/5 「RE:TETTO」 No.77

3 月末に行われた「スーパーキッズ・オーケストラ」のコンサートに、私も釜石市民吹奏楽団の一員として一部ステージに参加しました。小学生から高校生までの将来を囑望される弦楽器奏者たちは、佐渡さんの指揮のもと、一点の曇りもなく、全身全霊で自分たちの言葉で「音楽」を表現している姿に感動と感銘を覚えました。大人になればなるほど「間違えないように演奏しなければ」「上手く他のメンバーと合わせなければ」と周りを気にしすぎてしまい、体の内側から湧き出てくるエネルギーを知らず知らずに抑えてしまっているのではないかと、どんな年齢になっても大切なことはある！と私にとってはとても大きな「気づき」となる共演となりました。一番後ろでバイオリンを弾いていた男の子が、弾きながら私に振り向いて微笑んでくれたことは一生涯忘れないでしょう。



「希望の灯り」 2024/6 「RE:TETTO」 No.78

TETTO には道路に面して、ギャラリーと 3 つのスタジオが配置されています。その最大の特徴は「全面ガラス張り」。カーテンもありますが、活動が「見える」かたちで利用するかたがとでも多くなってきています。外を通る人が思わず立ち止まり、その活動に見入ることもしばしば。夜になると、ガラスの壁からあふれ出る灯りに、ダンスやドラムの練習などの「動き」も相まって、まるで TETTO 自体が生き物のように「呼吸している」ような錯覚に陥ることさえあります。私が思っている以上に、釜石市やその周辺の若い世代の皆さんは活動的で、若いお母さんお父さんたちが子供たちの送り迎えに TETTO に足を運んでもらうことも多く、市内の公共施設の中では利用者(来館者)の平均年齢が一番若い施設かもしれませんね。まだまだ釜石は捨てたもんじゃありません。これからも TETTO を使ってくださいね！



「利用打合せ」 2024/7 「RE:TETTO」 No.79

TETTO にはお貸しできる様々な施設があります。そしてご利用にあたって、大きなホール A・B、ギャラリー、ホール前広場などについては、利用前にホールのスタッフと「利用打合せ」をさせていただいております。さて、どんなことを打ち合わせするのか？基本的な項目である日時、利用施設や使用備品、支払い方法等の確認はもちろんのこと、打合せ時にお持ちいただいたタイムテーブルやレイアウト表(配置表)などの資料を貸館担当者と舞台スタッフにて確認させていただき、それが無理のないものであるか、安全に行えるかどうか、無駄な部分はないかなどを一緒に協議し、より良い催事となるようホール側としてもさまざまなご提案を行っています。これからも可能な限り、皆様に快適にホールをご利用いただけるよう、きめ細やかな打合せを心がけてまいります。

